

大野一心

NO.10

令和3年7月20日（火） 文責：校長 諸熊 修一

前期前半が終了しました！

4月6日（火）の前期始業式、7日（水）の入学式から始まった前期前半が本日で終了しました。生徒の皆さんは、各学級で、それぞれ前期前半の学習面、生活面について、振り返ったことだと思います。その反省を基に夏休みを過ごし、9月からの学校生活に生かして欲しいと思います。



いよいよ明日から夏休みが始まります。夏休みの約40日間は、自分のために使える時間がたっぷりあります。自分自身で毎日の生活を作りあげていかなければなりません。そのためには、「これだけは絶対やりぬくぞ」ということを決めて、計画を立てることが大切です。自分の弱い心に負けてしまって、だらしない生活習慣を続けてしまわないようにしてください。特に、ゲーム・スマホなどは、時間を決めて行い、自分自身をコントロールして行ってください。先日の人権学習会でもあったように、ゲーム・スマホの利用時間と学習の定着度、あるいは眼病のリスクなどについては、密接な関係があります。やりすぎないようにして、ぜひ、夏休みは、自分の心と体を鍛えるために何をするかを考え、やり抜くことを決めましょう。勉強や部活動を始め、家庭の仕事を引き受ける、本を読む、自然に親しむ時間を大切にするなど、夏休みに頑張れることはたくさんあるはずです。チャンスを生かす夏休みにしてください。

また、長い夏休みです。何よりも気をつけなければならないのは、健康と安全です。コロナ感染症予防を始めとして、健康面と安全面にはくれぐれも留意してください。8月9日の登校日に元気な姿を見せてくれるのを楽しみにしています。

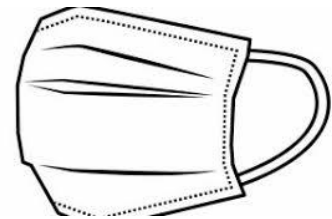
県中総体・吹奏楽コンクールでの健闘を祈ります！

7月25日（日）から県中総体、そして、8月1日（日）には吹奏楽コンクール地区大会がアルカス佐世保で開催されます。大会では、練習でやってきたことしか出せません。練習という大会までの準備を、与えられた環境と限られた時間の中で、いかに充実したものにできるかが結果を左右します。大会まで残された時間はあまりありません。悔いの残らない練習をして、それぞれの大会に臨んでください。また、実際の勝負には、時の運もあります。対戦相手も必死です。ですから、相手に勝つことよりも「自分の弱さに打ち勝つこと」のほうが、何倍も大切です。市中体の激励会では「弱気は最大の敵」という話をしました。どんなに追い込まれても、弱気にならずに今までやってきた練習や自分の力を信じて、最後の最後まであきらめずに「大野一心」で頑張ってきてください。

なお、各部等の結果については、本校ホームページでお知らせいたします。健闘を祈ります！（裏面へ）



梅雨も明け、暑くなるにしたがって、道端に不織布（ふしょくふ）マスクが落ちていた光景をよく目にするようになりました。学校の敷地内でも時々見かけます。このマスクをそのまま放置しているとどうなってしまうのでしょうか。長崎新聞（R3.6.18付）にコラムが載っていました。生徒の皆さんもぜひ考えてほしいと思います。



歳々元気

大西薬子



イラスト：山本栞司

不織布マスクは、ポリエチレンテレフタレート（PET）というプラスチックでできている。

道端に使用済みの不織布マスクが落ちていたのをよく見かけるが、私はこの光景を見るたびに、いったい誰が掃除をするのかと考える。風に飛ばされ、川に落ち、海にまで流れ着くマスクも多いだろう。

先日、インド洋のある島に大量の不織布マスクが流れ着いたというテレビ映像を見たが、人間の無責任さ

不織布マスクの行方

別の番組では、5千円を超える深海の底でハンパグのビニール製の外袋が発見されたという話題を扱っていた。その袋には「賞味期限 昭和59年3月」と書かれ、番組ではプラスチックは劣化するものの、自然に還ることはないといっていた。海の環境汚染は、海洋生物だけの問題ではない。やがて私たちが口にする魚や、魚が食べるプランクトン、海藻などにも悪影響を及ぼすので、人類に大きく関わる。

プラスチック素材とはいえ、使用済みの不織布マスクは「燃えるごみ」として処理されるのが一般的だ。使い終えたら適切に処理してほしい。

（健康アドバイザー）

東京五輪男子ハンドボールスペイン代表と交流しました！

7月18日（日）に佐世保市東部スポーツ広場で、東京五輪に出場するハンドボールのスペイン男子代表歓迎セレモニーが開催され、本校男女ハンドボール部も参加しました。男子ハンドボール部のキャプテン松永倅太郎さんがインタビューを受けて、長崎新聞（R3.7.19付）に掲載されていましたので、紹介します。

明日から4年に一度のオリンピック・パラリンピックがいよいよ始まります（開会式は23日〈金〉）。コロナ禍での開催については賛否両論ありましたが、鍛え抜かれたアスリートたちがどのようなパフォーマンスを見せてくれるのか、私自身も今から楽しみにしています。

東京五輪 男子ハンドボール スペイン代表



朝長市長（左から3人目）から贈呈された法被を着て記念写真に納まるラウル・エントリオス主将（左端）ら
＝佐世保市東部スポーツ広場体育館

佐世保で歓迎セレモニー

東京五輪に出場するハンドボールのスペイン男子代表チームの事前キャンプが実施されている佐世保市東部スポーツ広場体育館で18日、歓迎セレモニーが開かれた。

代表チーム24人は17日に佐世保に到着。18日まで主

この活躍を心から祈念する」とあいさつし、選手らに同市の九十九島がアリン

その後、中学生5人が選手に質問。「つらいときなどチームをどうのよにまとめたか」という問いに、ラウル・エントリオス主将は「自分たちが一番できることは何かを考えて、それを頑張るとい」とアドバイスした。

練習も公開され、トップレベルのプレーを生徒らが見学した。大野中男子ハンドボール部の松永倅太郎主将（3年）は「二つのプレーに全力で取り組んでいる、攻撃の連携もすごい」と話した。（瀬村高次）